

朝倉市青少年育成市民会議だより



オアシス

第 37 号

令和7年

10.1



特集

ふるさと
ボクらの故郷『あさくら』

特集

ふるさと

ボクらの故郷『あさくら』

朝倉市は令和8年3月20日に市制施行20周年を迎えます。まだまだ若いハタチの朝倉市ですが、魅力あふれる人と自然の中で未来を担う多くの子ども達が元気に育っています。今回はそんな朝倉市の子ども達を長年にわたって見守ってきた地域の有名人に焦点を当て、2組の方にインタビューをしてきました。こんな大人になってほしいという思いも込めて、皆様にご紹介します。



「朝のじゃんけんで、子ども達と交流」

蜷城小学校区

おぎの よしみ

荻野 善美 さん

いのうえ とおる

井上 徹 さん

インタビュー

1 組目

蜷城地区の子ども達から知られている有名な人がいます。蜷城小学校の多くの児童が通学してくるプール横の交差点で毎朝、児童の登校時間に合わせて見守り、交通誘導・指導を平成24年頃から現在まで続けられている荻野さんです。

荻野さんは児童から「おぎのさん」と呼ばれ、とても親しまれている方です。

荻野さんの方も、全ての児童の顔と名前を覚えています。

登校してきた児童の「最初はグー」を合図にいきなり歩きながらじゃんけんが始まります。荻野さんにお聞きしました。

なぜジャンケンをするようになったのか？

「子ども達とコミュニケーションをとるため」とのことでした。勝っても負けても笑顔で校門に向かっていく後ろ姿を、ひなっこ見守り隊会長の井上 徹さんと一緒に見送り子ども達の安全を日々見守って下さっています。



「坂の名前にもなった有名人」

インタビュー
2組目

おおば きょうじ
秋月小学校区 大場 恭児 さん

秋月小学校につながる3つの坂には「観音坂」「黒田坂」「大場坂」とそれぞれ名前が付けられています。

その坂の1つ「大場坂」の由来となったのは、地域の有名人である大場さんです。

大場さんは元々、遠洋漁業の船長として、長い時間を海で過ごしてきました。一度海に出たら帰ってくるのは数か月後といった生活であったため、ご自身のお子さんの運動会に行けたのも人生で1回だけとのことでした。

そんな大場さんは53歳で退職し、区会長等の役職に就いたとき、家族もお世話になっている地元へ何か恩返しをしようと考えました。しかし、地元にはいない時間が長かった大場さんは、地域の方をあまり知りません。

そこで行ったのが子どもの見守り活動でした。小学生が通る坂の入口で毎朝、交通誘導を行い、たくさんの人と顔なじみになれたとのことでした。88歳になった大場さんは今年、35年続けた見守り活動を引退されましたが、「子ども達が元気に挨拶してくれればそれだけで嬉しい」と語っていらっしゃいました。



最後に、朝倉市役所で林市長にお話を伺いました。林市長は、「世の中の移り変わりがあまりにも早すぎると感じる。しかし変わってはいけない大切な部分もある。生きていくことを考えることは未来を創ることに繋がっていく。子ども達には、夢と希望に向かって頑張^{ふるさと}ってほしい。そして歴史と文化、豊かな自然に育まれた故郷あさくらの良さを知り、やがては郷土を発展、繁栄させるリーダーに育ってほしい。」と語られました。

告知

第 15 回 青少年の集い in あさくら

日 時：令和7年12月14日(日) 13時半開演(13時開場)

会 場：朝倉地域生涯学習センター 文化ホール

内 容：第1部…少年の主張(市内中学生による作文発表)

第2部…講演会 ^{いずみ やす こ} 泉 泰子氏
(福岡県非行防止地域ミーティング講師)



第14回青少年の集い in あさくらの様子



参加費：無料
※予約は不要です。

多くの方のご来場を
お待ちしております！

朝倉市青少年育成市民会議では賛助会員を募集しています。

入会の手続き

会費の納入によって、自動的に会員名簿に登録されます。下記の口座に納入いただくか市民会議事務局に直接ご持参ください。

【銀行振込みの場合】

朝倉市青少年育成市民会議

筑前あさくら農業協同組合 甘木中央支店

普通預金口座番号 5321182

ご協力いただく会費の年額

- 賛助会員(個人) 1 □ 1,000 円
- 賛助会員(団体) 1 □ 3,000 円
- 賛助会員(法人) 1 □ 10,000 円
- 特別賛助会員(法人) 1 □ 50,000 円

●ありがとうございました●

(賛助会員、敬称略、順不同)

【団体・法人】

福田地区区会長会、(株)四ヶ所

三奈木地区民生委員児童委員協議会

金川地区コミュニティ協議会

【個人】

別府 稲子、梶原 眞、川端 恵美子

山田 美紀、村上 百合子、井上 和貴

松隈 栄子、三好 博明、小島 弘美

高倉 保之、坂口 秀孝、神保 裕実

篠原 裕子、川上 憲司、廣田 百合

坂口 史、加藤 健史

(令和7年1月1日～令和7年7月31日)

地区協議会

HOT LINE

秋月中学校区 ～秋月小学校の取り組み～

このコーナーでは各地区協議会の取り組みや地域で活動する青少年について紹介していきます。

秋月小学校では「ひと・もの・こと」をいかした学習の一環として、JA 職員の方々また地域の方と協力しての農業体験や自然体験を行っています。

1・2 年生はサツマイモの苗植えを行い、他にもピーマン、ナス、キュウリ、ミニトマトを育てています。4 年生は小石原川に鮎の放流をしました。



5 年生は稲作体験です。5 月に種まき、その後の水やりも自分たちで毎日行い、「芽が出てきたよ!」「だいぶ伸びてきた!」「フサフサして気持ちいい」等、楽しい観察結果も聞けました。6 月の田植え時には最初慣れない泥の感触にみんな戸惑い、汚れないように慎重に植えていましたが、一人転ぶと大膽になり休憩時には泥合戦になり全身泥んこになってはしゃいでいました。10 月の稲刈りの後は自分達でお米を炊いて食べる予定でとても楽しみです。



また、小学校敷地内には観音山という山があり、子ども達が多様な遊びを創造したり虫取りをしたりするのに格好の場所として人気です。

恵まれた自然環境を十分に活用し、小規模校ながらも豊かな感性と創造力を育んでいます。



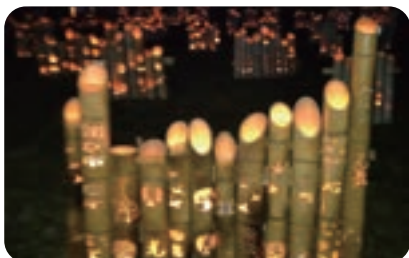
地区協議会

十文字中学校区 ～金川・三奈木ホタル祭り～

金川地区・三奈木地区では、毎年 5 月下旬に、ホタル祭りが行われます。ホタルが飛び交う美しい川の流れのもと、幼・小中高校生・大人…と様々な世代が集う場ともなっています。

金川「竹灯籠ホタル祭り」…美しい黄金川の流れ沿いに、「ボランティア黄金川」の皆さんが作成した「竹灯籠」が、幻想的な光を放ちます。今年も 5 月 25 日（日）に行われました。

このホタル祭りでは、4 人の十文字中学校生がボランティアとして、野菜の販売や竹灯籠の点灯のお手伝いをしてくれました。会場では、出店やバザーなどで人々の歓談が続き大にぎわいでした。



竹灯籠の灯



中学生による野菜販売



にぎわう祭り

三奈木「ホタルの里イベント」…三奈木コミュニティセンターで、5月31日（土）に行われました。このイベントでは、開会の前に、子ども達で「環境美化活動（空き缶等の収集）」を行います。また、6人の十文字中学校生がボランティアとして、会場設営のお手伝いをしてくれました。演芸プログラムでは、保育所の「おどり」や小学生の「和太鼓」、中学生音楽部の「リコーダー演奏」などで盛り上がりました。



環境美化活動



中学生の会場設営



音楽部のリコーダー演奏

HOT LINE

立石地区 ～5年生稲作体験～

立石小学校では、社会科で農業の学習をする5年生（149名）を対象に、学校近くの田んぼを借りて、稲作体験活動を行っています。今年は6月4日（水）に種まき、6月27日（金）に田植えを行いました。種まきから田植えまでの間は、自分たちで毎日水やりをして、苗を育ててきました。3週間後、毎年お世話になっている立石農業研究同志会の方々のご協力で、クラスごとに1列に並んで田植えをしました。10月の終わりには稲刈りの予定です。収穫した餅米は餅にしたり給食のご飯に混ぜたりしています。今年の秋が楽しみです。



比良松中学校区 ～平和学習フィールドワーク&平和集会～

比良松中学校の3年生は、太平洋戦争に関する平和学習のフィールドワークとして、7月8日（火）に「大刀洗平和記念館」と「頓田の森 平和花園」を見学しました。

比良松中学校では、学習した内容を表現する活動として、8月6日（水）に朝倉地域生涯学習センターの文化ホールで平和集会を実施しました。平和集会では、生徒会執行部のメンバーを中心に、知覧特別攻撃隊と沖縄戦をテーマとした平和劇「いわぬいろ ほたる不言色の蛸」を上演しました。戦後80年の節目の年に、戦争の悲惨さと平和の大切さについて深く考えるきっかけとなりました。観劇していただいた保護者や地域の方々からは、平和集会の内容を高く評価していただく取り組みとなりました。



表紙イラストの結果発表

オアシス表紙イラストへの多数のご応募ありがとうございました。

審査の結果、応募作品の中から最優秀賞と敢闘賞を決定しました。

※賞は最優秀賞のみの予定でしたが、協議の結果敢闘賞を増枠しております。

杷木中学校 3年

十文字中学校 2年

最優秀賞：小倉 百々子さん

敢闘賞：石川 絢望さん



最優秀賞作品



敢闘賞作品

オアシス第38号の 表紙イラスト募集

4月1日発行の表紙イラストを募集いたします。

次号のテーマは「楽しむ」です。

応募の詳細は募集要項をご確認ください。

たくさんの応募をお待ちしています。

募集要項

- ◆募集期間：令和7年10月1日(水)～令和8年1月16日(金)
- ◆応募資格：18歳以下
- ◆イラストの規格：八つ切の画用紙1枚程度、縦書き
- ◆応募方法：イラストの裏面にお名前(ペンネームでも可)と年齢、ご連絡先(メールアドレス、電話番号)を記入し申込先まで持参もしくは郵送してください。

※印刷や郵送に要する費用については自己負担となります。

◆賞：最優秀作品はオアシス第38号の表紙として採用させていただきます。

その他の参加賞はございません。

◆審査について：応募作品はオアシス編集委員会で審査します。審査後、受賞者には掲載に関する確認のご連絡をさせていただきます。

※なお、ご提出いただいた作品は原則として返却しませんのでご了承ください。

問い合わせ・申込先

朝倉市青少年育成市民会議事務局

〒838-1592 福岡県朝倉市杷木池田483-1

TEL:0946-28-7595 FAX:0946-63-3569

E-mail: danjo@city.asakura.lg.jp

おすすめの一冊

伝染病に挑んだ人々～予防接種秋月物語～

江戸時代、当時未知の伝染病だった「天然痘」の予防接種「種痘」を日本で初めて成功させた秋月藩医・緒方春朔の偉業を紹介した絵本で、市内の有志でつくる「予防接種は秋月藩から始まったキャンペーン推進協議会」が制作し丁寧で美しい描写と、時代を経ても変わることのない心温まるストーリーが特徴です。現在は市内の小中学校や図書館などに配られており気軽に手にすることができます。

春朔が種痘を成功させたのは、1790年2月14日だったことから2月14日は「予防接種記念日」として登録されています。



編集後記

二十年とひとくちで言っても 様々な出来事がありました
世界は目まぐるしい変化に見舞われ 私達の意識も知らぬ間
に変わっていくのを感じます いえ 変えるべきところはある
すが 変わってはいけないことをしっかりと止める努力も必要だ
と思うのです
水と緑に恵まれ豊かな文化を誇る故郷ですが 水や緑の恩恵
をのみ享受できるものでもなく 時にはその厳しさを思い知ら
される時もあります その時は何度でも立ち上がる勇気と知恵
をもつて さらに強い街づくりを目ざすのです
常に変化を如何に捌くか 自然を上手に受け入れ 私達の
意志の力によって より良い未来を目指していくのです
これからの百年そして千年と続く未来のそして子ども達の
ために 出来ることを一緒に考えていかなければなりません

穴あけが必要な場合は△を中心に開けください。

